



令和3年4月12日

各位

会社名 新都ホールディングス株式会社
(JASDAQコード番号: 2776)
代表者名 代表取締役社長 鄧 明輝
問合せ先 取締役 半田 紗弥
電話 03-5980-7002

令和4年1月期通期業績予想に関するお知らせ

令和3年3月19日に公表いたしました「令和3年1月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました令和4年1月期の業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 令和4年1月期通期(令和3年2月1日～令和4年1月31日)連結業績予想

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	3,246	45	45	41	1.81
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前年実績(令和3年1月期)	711	△136	△163	△164	△9.20

2. 業績予想公表の理由

令和4年1月期の業績予想につき、令和3年1月期決算短信の公表日時点において業績に影響を与える未確定要素が多く、適切な業績予想を算出することが困難な状況にあったことから開示を控えておりました。今回の発表にあたり、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき、業績予想を算定し公表することといたします。

前期(令和3年1月期)はアパレル事業の低迷により売上高は減少したものの、収益は改善傾向にあります。また、当社グループは貿易事業を主体とした取扱製品領域の拡大及び営業拡大に取り組んでおり、その一環として令和2年12月30日付にて簡易株式交換による株式会社大都商会の完全子会社化を実施いたしました。また、令和3年3月22日付にて当社の100%子会社大都商会と株式会社日豊化学による合弁会社が設立され、今後コンバウンドプラスチック材料の生産、製造、販売等を行ってまいります。一方、新型コロナウイルス感染症の影響拡大等により、当社グループが前期中から積極的に取り組んでいる当該関連商材による売上高の積み増しも継続的に図っていることから、前期実績と比較し売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につき大幅改善する見込みであります。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因などにより結果に於いて増減する可能性があります。

以上